

## 『労災防止研修会』開催！

ACTIVE KUMIAI

## 山梨県砂利組合連合会



あいさつをする井上会長

県内の4つの協同組合（山梨県砂利協同組合、身延砂利協同組合、早川砂利協同組合、富士川中流砂利協同組合）で組織される『山梨県砂利組合連合会』（会長 井上聰一郎）は、去る6月30日（土）午前10時30分より連合会構成組合の砂利採取業者ら約70名の参加の下、同連合会が事務所を構える甲府市内の農業共済会館内研修室において『労働災害防止研修会』を開催した。

井上会長は、冒頭のあいさつの中で、昨今の厳しい経済状況の中にあっても、当業界の有意性を述べ、また、日本砂利協会全国大会で掲げられたスローガンでもある「労働を通しての社会貢献」や「労働災害の撲滅」を实践するために、その前提となる安全に対する意識・準備の重要性を訴えた。

また、講師の労働安全コンサルタントの功刀能文氏は、これまでに起きたさまざまな労災事故事例の説明とともに、特に今回『つまずきや転び』という些細なことから起こる大事故について、どうしてその事故が起きたかなどの詳しい説明とその防止策、さらには、これからの季節に特に気をつけなければならない『熱中症』に対する対策などについて講演し、作業前の安全環境の確保の大切さを説いた。

同研修会は、毎年7月に実施される『全国安全週間』に先立って行われており、それが奏功し、山梨での砂利業界における労災事故はゼロ更新を続けている。参加者からは、「この時期に行われる研修会はタイムリーかつ有益だ」という声が多く聞かれた。



熱心に聴講する参加者